

MITSUBISHI

三菱電動昇降装置操作盤

取扱説明書

## ワンパルスリモコン対応タイプ

昇降回路数	組合せ形名	昇降制御部形名	昇降操作部形名
1回路用	SWB1201	SWB1201B	SWB1201S
3回路用	SWB3201	SWB3201B	SWB3201S
6回路用	SWB6201	SWB6201B	SWB6201S

このたびは三菱電動昇降装置操作盤をお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。  
お求めの装置を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。





お客様へ ▶ ●この器具の取り付け工事は必ず電気工事店に依頼してください。  
●素人工事は法で禁じられています。

工事店様へ ▶ ●工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお返しください。









■安全上のご注意 商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

## ■工事店様へ ..... 施工上のご注意

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しない。 （器具落下・モーター焼損・火災の原因）  禁止	施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準、内線規程に従い行う。 アース工事を確実に行う。 （アースが不完全な場合、感電の原因）  厳守	電源電線の接続は、本取扱説明書の「装置の取付方法と結線方法」に従い行う。誤配線に注意。 （接続が不完全な場合、発熱・火災の原因）  厳守	制御盤は質量の耐える場所に取り付ける。 （取り付けに不備があると、器具落下・感電・火災の原因）  厳守
---	--	---	--

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容を示します。

ほこりのひどい場所、腐食性ガスの発生する場所、高温、高湿の場所で使わない。 （火災・感電・落下の原因）  禁止	強い振動・衝撃のある場所、雨のあたる場所（屋外、軒下等）で使わない。 （落下・感電の原因）  禁止	装置の改造・塗装は絶対に行わない。 （火災・感電の原因）  禁止	誤配線・混線は絶対の行わない。 （故障の原因）  禁止
リモコンシステムと組み合わない場合、必ずランプ電源を切ってから昇降する。 （昇降部電気接点損傷の原因）  禁止	当社リモコンシステムは他社制御盤・リモコンシステムと互換性がないので、組み合わせない。 （誤動作・故障の原因）  厳守	リモコンシステムと組み合わせる場合、リモコンリレーの開閉回路灯数に注意する。 また、照明回路と昇降操作回路は必ず対応するように配線する。 （誤動作・故障の原因）  厳守	制御盤の絶縁抵抗試験は、250Vメガーで測定する。 （500Vメガー以上で測定すると故障の原因）  厳守

# ■お客様へ……………使用上のご注意

**警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

ワイヤーがねじれたまま、もつれたままの昇降や、器具が揺れ回転している時は使用しない。  
(ワイヤーの強度が低下し、器具落下の原因)



禁止

**注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

お客様自身で電気工事はしない。  
電気工事士の資格が必要です。  
(火災・感電の原因)



禁止

昇降装置は定格使用時間以上の連続昇降動作を行わない。  
また、再動作には10分ほど時間を置いてから操作する。  
(焼損・火災の原因)



厳守

昇降操作時以外は、操作盤内のブレーカーを切り、扉を確実に閉め、施錠管理する。



厳守

明るく安全にご使用いただくために、半年に1回の保守・点検を行う。

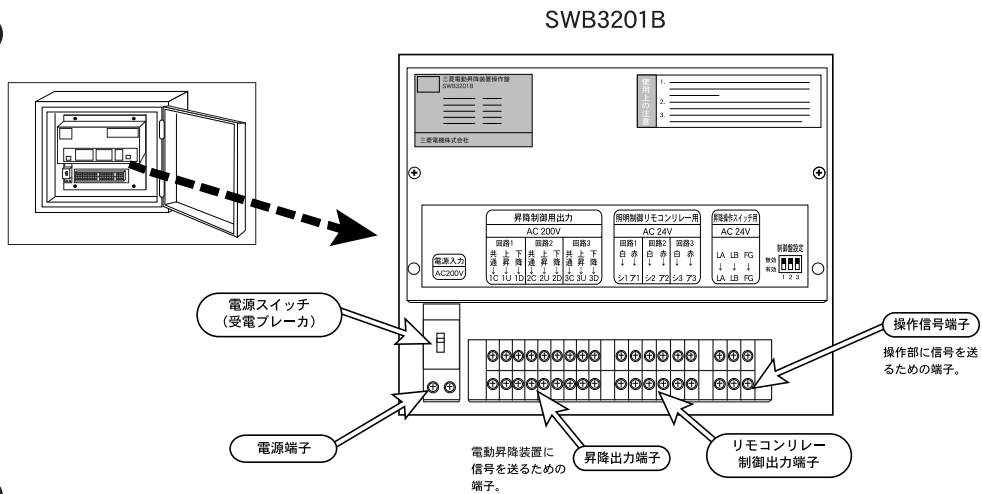


厳守

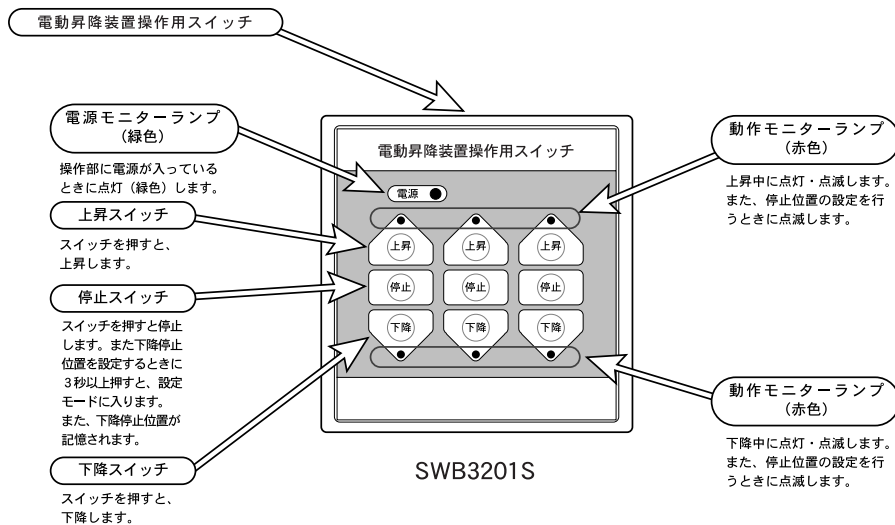
## ■ 機器構成と各部のなまえ

この図は3回路用SWB3201の図です。

### 昇降制御部

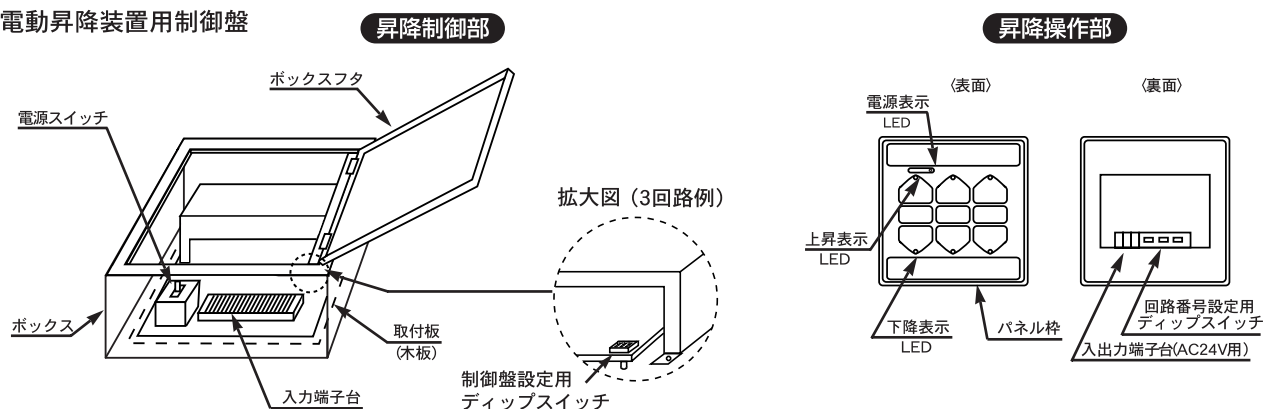


### 昇降操作部



## ▼ワンパルスリモコン対応タイプ（この図は3回路用の略図です）

### 電動昇降装置用制御盤

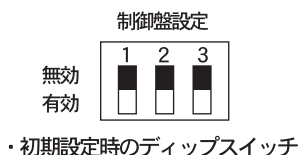


## ● 位置設定機能について（3回路の例）

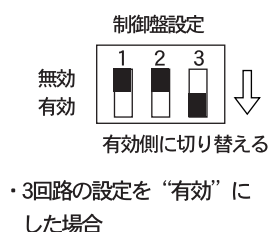
電動昇降装置操作盤 昇降制御部には、昇降回路毎に降下停止位置を設定できる位置設定機能を内蔵しています。位置設定機能を使用する場合は、昇降制御部内の基板右下角部に位置する制御盤設定用ディップスイッチの設定を切替えてください。

### <位置設定の手順>

- ①各昇降回路の制御盤設定用ディップスイッチの初期設定は、「無効」となっています。



- ②降下停止位置の設定をしたい昇降回路の制御盤設定用ディップスイッチを「有効」に切替えてください。



- ③切替え後、制御部電源スイッチ（受電ブレーカー）をOFFにしてください。



- ④再度、制御部電源スイッチをONにしてください。



※③、④の操作を行わないと、正しく位置設定を行うことができません。

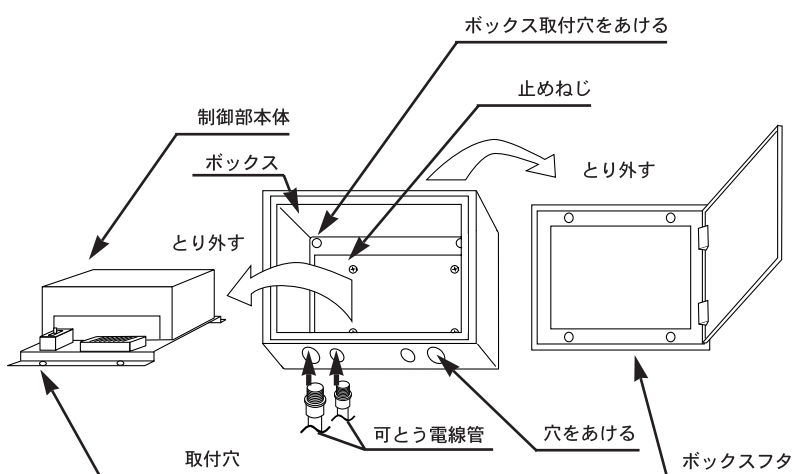
- ⑤昇降操作部側で各昇降回路の降下停止位置設定を行ってください。設定方法は、取扱説明書P8～を参照してください。

## ■ 取付方法と結線方法

### ▼ワンパルスリモコン対応タイプ

#### 1. 制御部

- ①ボックスからボックスフタと制御部本体をとり外してください。
- ②ボックスに取付・通線用の穴加工をしてください。  
(ボックス取付推奨ピッチは取扱説明書P.4を参照してください。)
- ③ボックスを壁面に確実に取り付け、可とう電線管をひきこんでください。
- ④制御部本体をボックス内に確実に取り付け、端子ラベルに従い結線してください。
- ⑤最後にボックスフタを取り付けてください。



## ● ボックス寸法

		(mm)		
		1回路用	3回路用	6回路用
外形寸法	A. タテ	300	400	500
	B. ヨコ	400	400	400
	C. 高さ	140	140	140

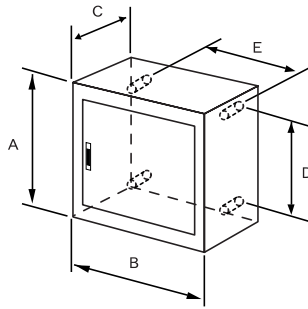
## ● ボックス取付推奨ピッチ

		(mm)		
		1回路用	3回路用	6回路用
D. タテ		240	340	440
E. ヨコ		340	340	340

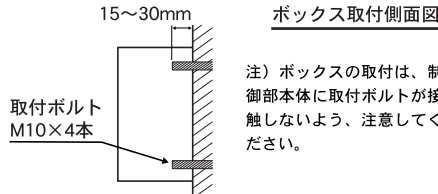
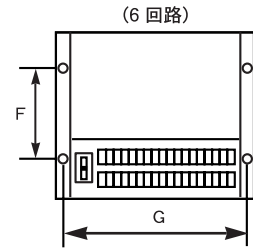
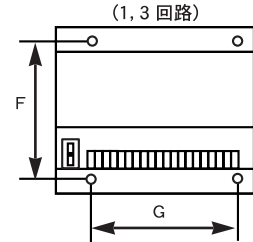
## ● 制御部本体取付ピッチ

		(mm)		
		1回路用	3回路用	6回路用
F. タテ		195	225	140
G. ヨコ		150	170	305

ボックス寸法と取付推奨ピッチ

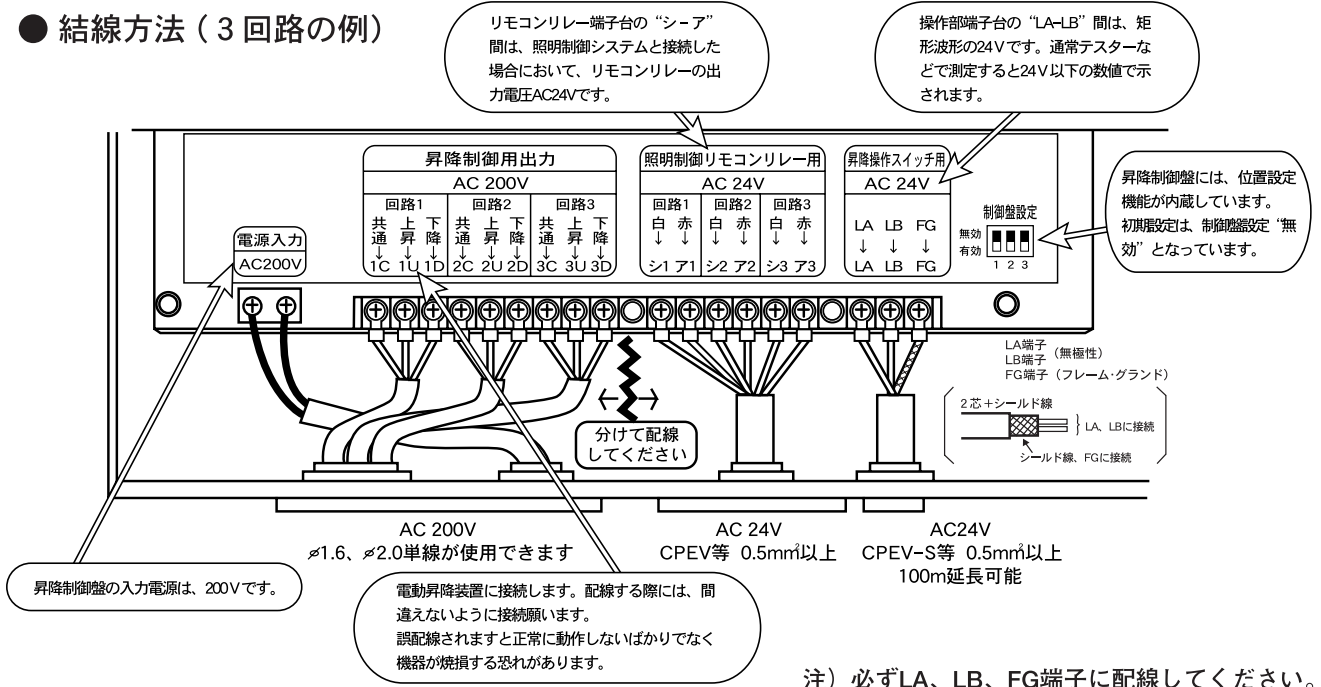


制御部本体取付ピッチ



注) ボックスの取付は、制御部本体に取付ボルトが接触しないよう、注意してください。

## ● 結線方法 (3回路の例)



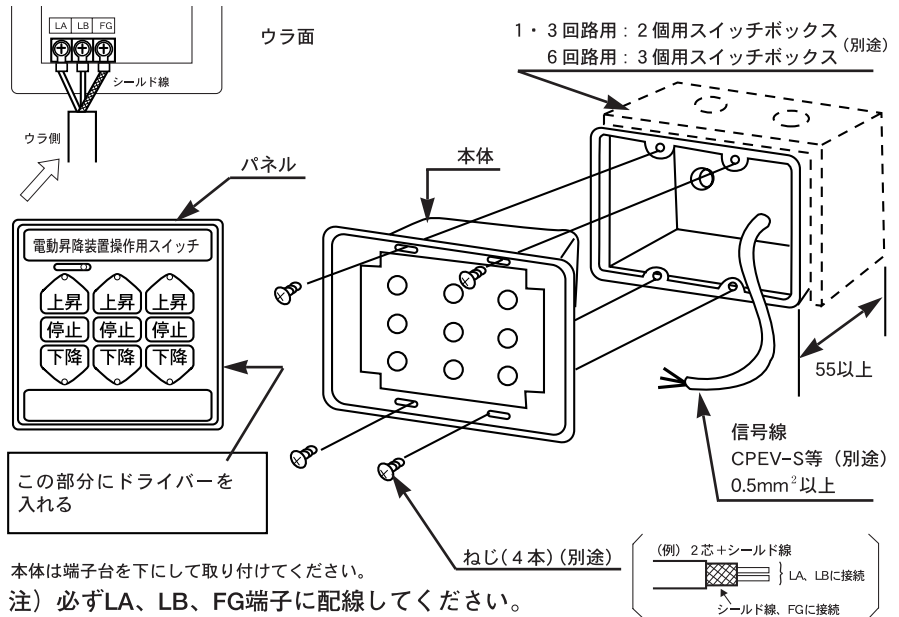
## ご 注 意

- ①電源を入れずに結線してください。故障につながるおそれがあります。
- ②AC200VとAC24V (リモコンリレー用)・AC24V (操作スイッチ用)はそれぞれ個別に電線管に通し、配線してください。
- ③6回路用は端子台が2段になっています。ラベル中にある結線記号と対応する端子ねじに確実に結線してください。
- ④AC24Vの信号線は、使用電線と径により配線可能距離が変わってきます。特に照明制御リモコンリレー用制御線はリモコンリレーの台数によっても変わりますので別途お問い合わせください。
- ⑤誤配線されると装置またはリモコンシステムが故障しますのでご注意ください。

## 2. 操作パネル部

- ①電源を入れずに結線してください。故障につながるおそれがあります。
- ②マイナスドライバーでパネルを外してください。  
●内部スイッチを壊さないようご注意ください。
- ③本体裏側にある端子台へ信号線(LA, LB, FG)を確実に結線してください。
- ④先に埋込まれて取り付けであるスイッチボックスに本体をねじ止め(4本)してください。
- ⑤最後にパネルをはめこんでください。

### ●操作部結線方法(1, 3, 6回路同一)

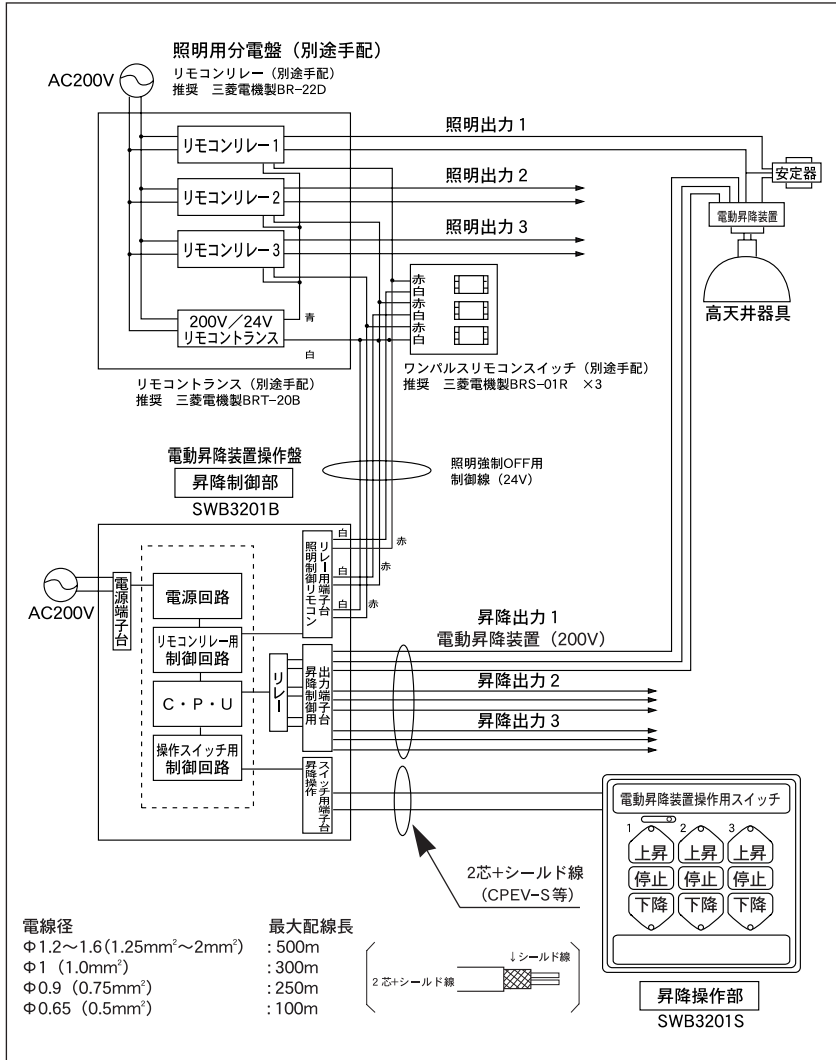


### 絶縁抵抗測定のご注意

- ①絶縁抵抗測定(メガテスト)は必ず250V絶縁抵抗計を使用してください。
- ②昇降操作スイッチ用信号線を接続したまま絶縁抵抗測定をしないでください。  
機器の故障につながるおそれがあります。  
昇降操作スイッチ用線の絶縁抵抗を測定する場合は、制御部から昇降操作スイッチ用信号線を取り外し、測定を行ってください。

# 配線系統図

## ▼ワンパルスリモコン対応タイプ (3回路の例)

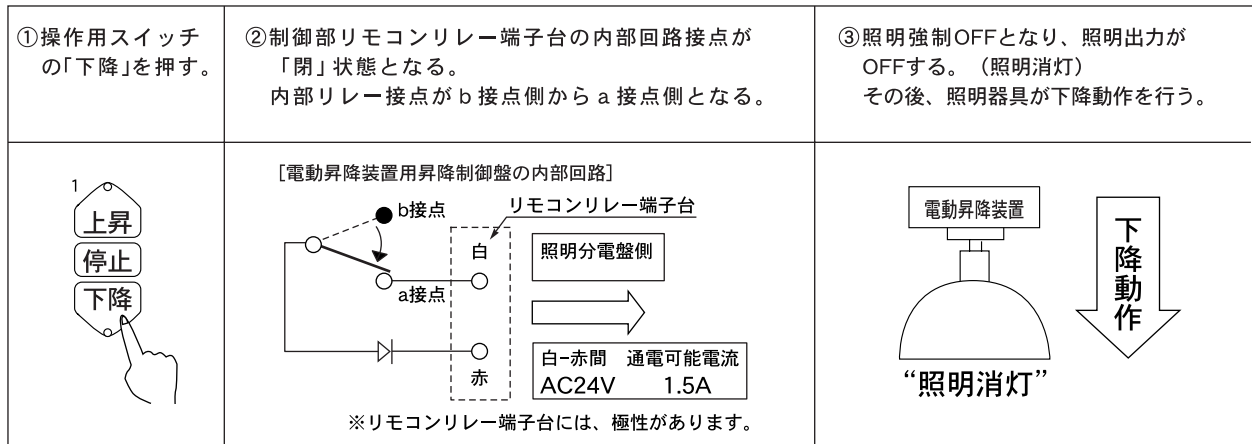


### 正しく使って頂くためのご注意

- この装置はリモコンリレーを用いた照明用分電盤と組み合わせる事により、昇降時強制的に照明回路をOFFできます。
- 電動昇降装置回路1に対して照明回路1を必ず対応させてください。電動昇降装置回路と照明回路が対応していない場合は、昇降時にランプ活線回路を切り離す事になり電動昇降装置の接点が焼損するおそれがあります。
- 照明回路の負荷灯数(昇降制御盤1回路で強制OFFできる灯数)はリモコンリレー接点の容量で決まります。リモコンリレー・リモコンスイッチは弊社製品のものをご使用ください。
- 照明制御リモコンリレー用線や昇降操作スイッチ用線は弱電流回路です。昇降操作出力線(200V)と近接・交差する場合、電気設備技術基準204条(低圧屋内配線と弱電流電線等又は管との近接または交差)に基づいて施工してください。

### [照明制御システムとの連動について]

電動昇降装置操作盤 昇降制御部内にリモコンリレー用の信号端子台(リモコンリレー端子台)を備えているため、照明制御システムとの連動により電動昇降装置の動作時に照明回路を自動的にOFFすることが可能です。



注) 制御盤からは、24Vは出ていません。内部リレーが切り替わります。



## ■ 動作方法(下降停止位置設定しない場合)

取り付け後の試運転の場合、あるいは下降停止位置を設定しない手動操作で高天井器具を下降させる場合、次の手順で操作を行ってください。

# 1

### 制御盤の電源をON

- ① 電動昇降装置用制御盤に正しい電圧の電源が入っていることを確認します。

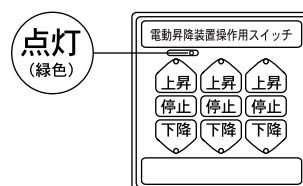


- ② 制御盤の電源スイッチを「ON」(「入」)にします。

# 2

### モニター電源入力の確認

- ① 操作パネルのモニター電源が「点灯」していることを確認します。

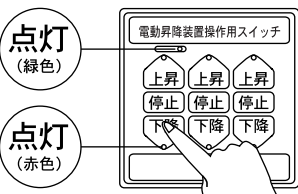


- 「点灯」していない場合は、制御部と操作部の配線を見直してください。

# 3

### 「下降」スイッチを押す

- ① 下降スイッチを押します。  
② 下降スイッチが「点灯」します。  
③ 高天井器具が下降します。

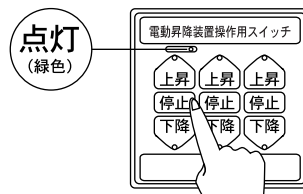


- 注) 高天井器具下降中は上昇スイッチは無効です。必ず停止スイッチを押した後、上昇スイッチを押してください。

# 4

### 「停止」スイッチを押す

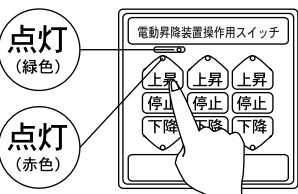
- ① 停止スイッチを押します。  
② 下降スイッチの「点灯」が消灯します。  
③ 高天井器具が停止します。



# 5

### 「上昇」スイッチを押す

- ① 上昇スイッチを押します。  
② 上昇スイッチが「点灯」します。  
③ 高天井器具が上昇します。



- 注) 高天井器具上昇中は下降スイッチは無効です。必ず停止スイッチを押した後、下降スイッチを押してください。

# 6

### 制御盤の電源OFF

- ① 高天井器具が正常にロックされたことを確認します。  
② 停止スイッチを押してください。上昇スイッチが「消灯」します。



- ③ 制御盤のメインスイッチを「OFF」(「切」)にします。  
注) 高天井器具が正常にロックされていても上昇スイッチはそのまま点灯しています。故障ではありません。

手動操作(下降停止位置設定なし)では、上昇または下降停止操作を行うとLEDランプが点灯します(赤色)。停止スイッチを押さないとランプは消灯しません。

下降スイッチで床面到達、また上昇スイッチで正常にロックしたことを確認したら、必ず停止スイッチを押してください。

## ■ 下降停止位置の設定方法

下降停止位置の自動設定機能を用いて下降停止位置を記憶させたい場合、次の手順で操作を行ってください。  
下降停止位置の設定は3頁を参照してください。

# 1

### 制御盤の電源をON

- ① 電動昇降装置用制御盤に正しい電圧の電源が入っていることを確認します。

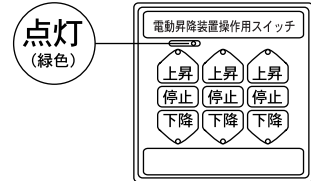


- ② 制御盤の電源スイッチを「ON」(「入」)にします。

# 2

### モニター電源入力の確認

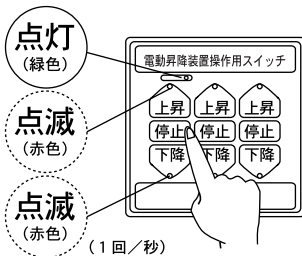
- ① 操作パネルのモニターが「点灯」していることを確認します。



# 3

### 「停止」スイッチを3秒以上押す

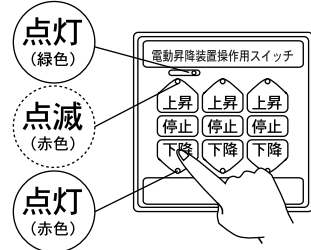
- ① 停止スイッチを3秒以上押します。
- ② 上昇スイッチ、下降スイッチが「点滅」します。(1回/1秒)
- ③ 設定モードに入ります。



# 4

### 「下降」スイッチを押す

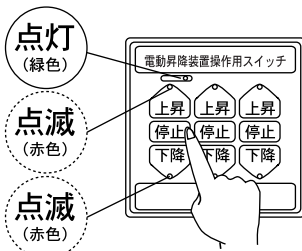
- ① 下降スイッチを押します。
- ② 下降スイッチの「点滅」が「点灯」になります。
- ③ 高天井器具が下降します。



# 5

### 「停止」スイッチを押す

- ① 停止スイッチを押します。
- ② 下降スイッチの「点灯」が「点滅」に変わります。
- ③ 高天井器具が停止します。
- ④ 停止位置の設定が完了します(T1)。

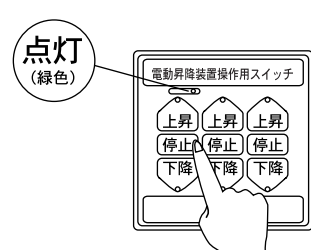


注) 微調整させたい場合、次ページ●・◎をご覧ください。

# 6

### 「停止」スイッチを3秒以上押す

- ① 停止位置が決定の場合、停止スイッチを3秒以上押します。
- ② 下降スイッチ、上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。
- ③ 下降停止位置が記憶されます(T1)。





## ■ 下降停止位置の設定方法（微調整する場合）

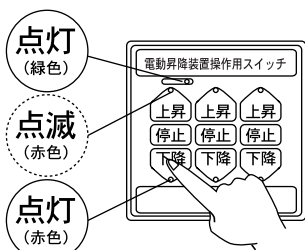
下降停止位置の設定方法に基づいて、停止位置を決定したが、もう少し高天井器具を下降・上昇させたい場合、次の手順で操作を行ってください。

# 7

⑤「停止」の状態のつづき

### 「下降」スイッチを押す

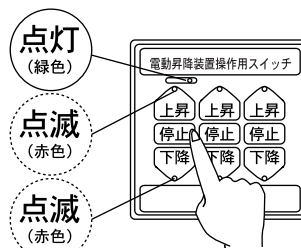
- ① 下降スイッチを押します。
- ② 下降スイッチの「点滅」が「点灯」に変わります。
- ③ 高天井器具が下降します。



# 8

### 「停止」スイッチを押す

- ① 停止スイッチを押します。
- ② 下降スイッチの「点灯」が「点滅」に変わります。
- ③ 高天井器具が停止します。
- ④ 停止位置の設定が完了します (T2)。

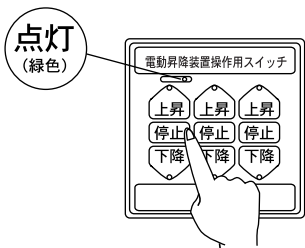


(T1 + T2 の位置で停止位置が設定されます)

# 9

### 「停止」スイッチを3秒以上押す

- ① 停止位置が決定の場合、停止スイッチを3秒以上押します。
- ② 下降スイッチ、上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。
- ③ 下降停止位置が記憶されます (T1 + T2)。

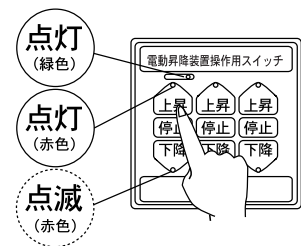


# 10

⑤・⑧「停止」の状態のつづき

### 「上昇」スイッチを押す

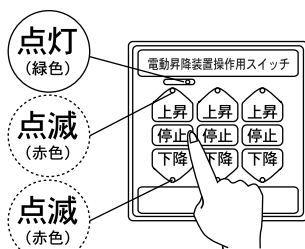
- ① 上昇スイッチを押します。
- ② 上昇スイッチの「点滅」が「点灯」に変わります。
- ③ 高天井器具が上昇します。



# 11

### 「停止」スイッチを押す

- ① 停止スイッチを押します。
- ② 上昇スイッチの「点灯」が「点滅」に変わります。
- ③ 高天井器具が停止します。
- ④ 停止位置の設定が完了します (T3)。

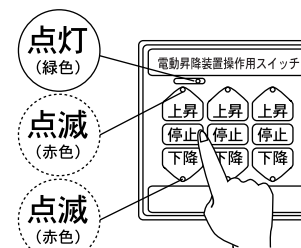


(T1(+T2)-T3の位置で停止位置が設定されます)

# 12

### 「停止」スイッチを3秒以上押す

- ① 停止位置が決定の場合、停止スイッチを3秒以上押します。
- ② 下降スイッチ、上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。
- ③ 下降停止位置が記憶されます (T1(+T2)-T3)。



### ご注意

設定モードを解除したい時は、13ページをご覧ください。

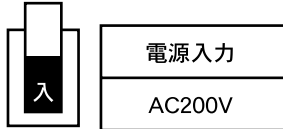
## ■ 動作方法（下降停止位置設定確認）

制御盤を操作して高天井器具を下降させる場合で、下降停止位置の記憶設定があるときは、次の手順で操作を行ってください。

# 1

### 制御盤の電源をON

- ① 電動昇降装置用制御盤に正しい電圧の電源が入っていることを確認します。

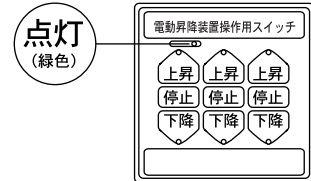


- ② 制御盤の電源スイッチを「ON」（「入」）にします。

# 2

### モニター電源入力の確認

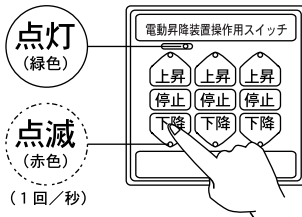
- ① 操作パネルのモニターが「点灯」していることを確認します。



# 3

### 「下降」スイッチを押す

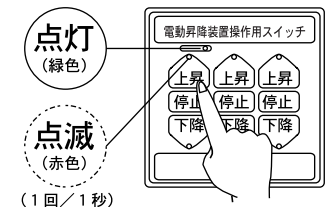
- ① 下降スイッチを押します。
  - ② 下降スイッチが「点滅」します。(1回/秒)
  - ③ 高天井器具が下降します。
  - ④ 記憶した位置で高天井器具が自動的に停止します。
  - ⑤ 下降スイッチの「点滅」が「消灯」します。
- 注) 高天井器具下降中は上昇スイッチは無効です。必ず停止スイッチを押した後、上昇スイッチを押してください。



# 4

### 「上昇」スイッチを押す

- ① 作業終了後上昇スイッチを押します。
- ② 上昇スイッチが「点滅」します。(1回/秒)
- ③ 高天井器具が上昇します。
- ④ 高天井器具が定位置に戻ります。
- ⑤ 上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。(下降した時間の2倍の時間が経過すると「点滅」は自動的に「消灯」します。また、停止スイッチを押すと「点滅」が「消灯」します)



# 5

### 制御盤の電源OFF

- ① 高天井器具が正常にロックされたことを確認します。
  - ② 制御盤のメインスイッチを「OFF」（「切」）にします。
- 注) 安全にご使用いただくために、昇降操作時以外は電源スイッチを「切」にしてください。



### ご 注 意

- ① 高天井器具が記憶した位置で停止後、もう少し下降させたい場合、下降スイッチを押し続けてください。上昇させたい場合、上昇スイッチを押してください。何度でも上昇・下降を繰り返し行えます。
- ② その時、停止スイッチを3秒以上押さないでください。記憶がリセットされ、設定モードに入ってしまう。
- ③ 高天井器具が記憶した状態で定位置に戻っても、操作パネルの上昇スイッチは点滅していますが、故障ではありません。設定した2.5倍の時間が経過すると自動的に停止します。ただし、高天井器具が記憶した位置で停止した後、微調整した場合、定位置に戻った時、操作パネルのスイッチは、6時間後「消灯」します。また停止スイッチを押すと「点滅」が「消灯」します。

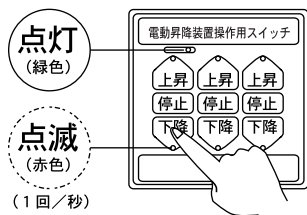
## ■ 動作方法（下降停止位置を微調整したい場合）

自動操作で高天井器具を自動停止させたが、もう少し停止位置を下降、または上昇させたい場合、次の手順で操作を行ってください。

# 1

③「下降」「停止」のつづき  
もう少し下降させたい時

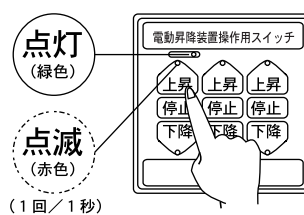
- ① 下降スイッチを押し続けます。
- ② 下降スイッチが「点滅」します。（1回/秒）
- ③ 高天井器具が下降します。
- ④ 停止させたい位置で下降スイッチを離します。
- ⑤ 下降スイッチの「点滅」が「消灯」します。



# 2

③「下降」「停止」のつづき  
もう少し上昇させたい時

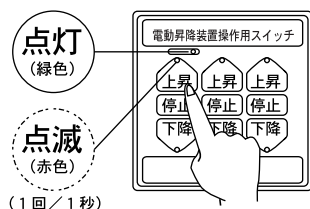
- ① 上昇スイッチを押し続けます。
- ② 上昇スイッチが「点滅」します。（1回/秒）
- ③ 高天井器具が上昇します。
- ④ 停止させたい位置で上昇スイッチを離します。
- ⑤ 上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。



# 3

「上昇」スイッチを押す

- ① 作業終了後上昇スイッチを押します。
- ② 上昇スイッチが「点滅」します。（1回/秒）
- ③ 高天井器具が上昇します。
- ④ 高天井器具が定位置に戻ります。
- ⑤ 上昇スイッチの「点滅」が「消灯」します。（下降した時間の2.5倍の時間が経過すると「点滅」は自動的に「消灯」します。また、停止スイッチを押すと「点滅」が「消灯」します）



# 4

制御盤の電源OFF

- ① 高天井器具が正常にロックされたことを確認します。
- ② 制御盤のメインスイッチを「OFF」（「切」）にします。

注) 安全にご使用いただくために、昇降操作時以外は電源スイッチを「切」にしてください。




## ■ ご注意（ワンパルスリモコン対応タイプ）ご使用時


ワンパルスリモコン対応の場合、停止状態であればランプ用スイッチを「ON」にすると高天井器具の位置に関わらず、昇降装置までランプ用電源が印加されます。ご注意ください。

## ■ 動作時の注意事項


### 1 下降時



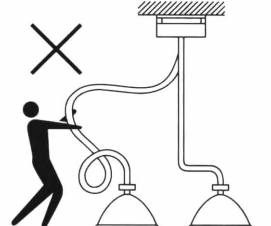
- ★システムと組み合わせていない場合は、必ずランプを消灯させてから高天井器具を下降させてください。
- ★上昇→下降の急激な切替や、昇降高さ1～2mでの繰り返し昇降等は、故障の原因となりますので、決して行わないでください。
- ★電動昇降装置は定格使用以上の連続昇降動作を行わないでください。また、再動作には10分程度かかります。




### 2 床面到達・下降自動停止



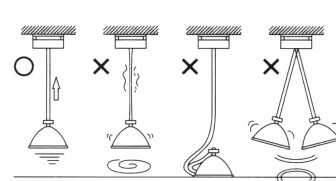
- ★高天井器具が下降し、床面に到達すると電動昇降装置は自動的に停止します。このときに、ワイヤーをさらに引っ張り出さないでください。故障の原因となります。
- ★到達した位置よりも、灯具を横にずらさないでください。




### 3 上昇時



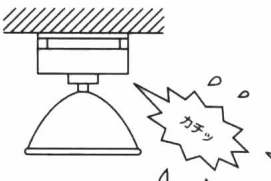
- ★メンテナンスが終了したら、ワイヤーに「ねじれ」「もつれ」がないか確認し、操作パネルの上昇スイッチを押してください。
- ★ワイヤーがたるんだ(負荷のかからない)状態での上昇動作は行わないでください。
- ★上昇中は、高天井器具を揺らしたり回転させたりしないようにして巻き上げてください。
- ★風の強い日の昇降や、昇降途中に高天井器具が揺れたり回転したりしたときは、直ちに停止させ、揺れや回転がおさまってから、再度、昇降動作を行ってください。



### 4 ロック停止



- ★高天井器具が天井面に到達し、「カチッ」という音がするとロックが完了します。
- ★「カチッ」という音がして、ロック停止の確認を行ったら、必ず停止スイッチを押してください。



## ■ 電動昇降装置保守点検方法

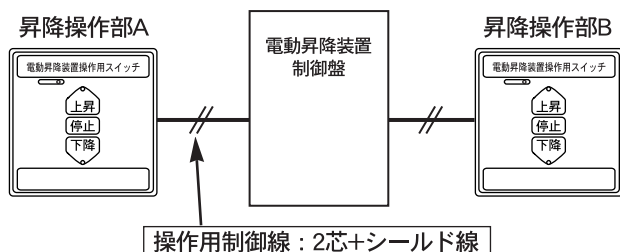
電動昇降装置の性能を維持するために、少なくとも6ヶ月に1度は「電動昇降装置の操作」を行い、下記の項目に照らし合わせて点検をするようにしてください。

項目	チェック方法	判定基準	判定NO時の対策
1 絶縁抵抗	操作盤内の操作線充電部とアース線を絶縁抵抗計で測定する。	それぞれの操作回路において、2MΩ以上であること。	NOの場合は不具合部品を調べて記録をする。
2 下降テスト	操作スイッチを下降にして床まで高天井器具を下降させる。	異常なく下降すること	回路昇降装置の点検を行う。
3 自動停止テスト	高天井器具が床面に到達した時、電動昇降装置が停止することを確認する。(モーター音がなくなる)	モーターが停止すること。	電動昇降装置の点検を行う。
4 接点状態調査	昇降部の電気接点表面の酸化の有無を目視によりチェックする。	黒色に酸化していないこと。	接点の交換を行う。
5 ワイヤー状態	ワイヤーにキック(くせ)がないかチェックする。(滑車の丸み程度の曲がりはOKとする)	曲がり癖、素線のほころび、素線切れ等のないこと。	NOの場合は電動昇降装置ごと交換する。
6 上昇テスト	操作スイッチを上昇にして高天井器具を上昇させ、正常にセットされることを確認する。	異常なく上昇すること。	電動昇降装置の点検を行う。
7 ランプ点灯	ランプを点灯させ、確認する。	正常に点灯すること。	ランプの寿命または回路、安定器を調査する。

## ■ 複数の昇降操作部からの操作について

以下の接続により、複数の昇降操作部から同一昇降回路の昇降操作が可能です。

(a)昇降制御部の昇降操作スイッチ用端子台に操作制御線を接続



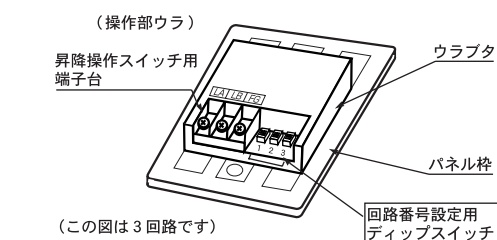
(b)昇降操作部の端子台で操作制御線を送り接続

操作制御線は、最大配線長がありますのでご注意ください。  
操作制御電線径に対する最大配線長

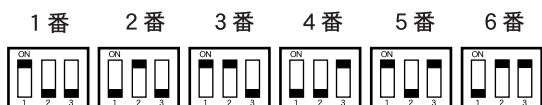
電源線径	最大配線長
φ1.2~1.6 (1.25mm <sup>2</sup> ~2mm <sup>2</sup> )	500m
φ1.0 (1.0mm <sup>2</sup> )	300m
φ0.9 (0.75mm <sup>2</sup> )	250m
φ0.65 (0.5mm <sup>2</sup> )	100m

## ■ 昇降操作部の回路変更について

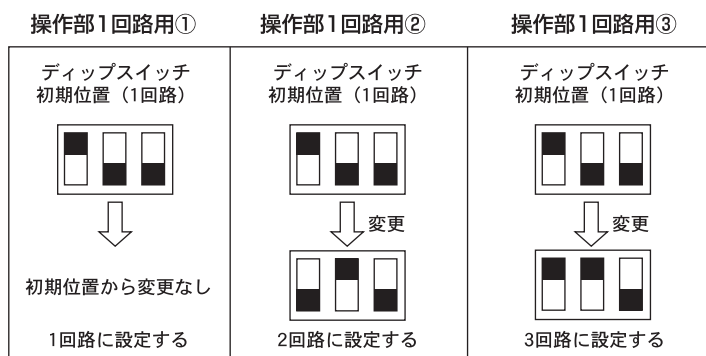
複数の昇降操作部を1台の昇降制御部に接続して昇降操作をする場合、昇降操作部の回路番号設定用ディップスイッチを切り替え、昇降制御部の昇降回路番号と合わせてください。



〔回路番号設定用ディップスイッチ〕



(例) 3回路制御部に1回路操作部を3ヶ接続した場合



### ご注意

- ①変更後は、必ず昇降制御部の電源を一度OFFし、再度ONにしてください。
- ②昇降操作部1台に対し、昇降制御部を複数台使用することはできません。
- ③回路番号設定用ディップスイッチは、完全に切替え側に押し付けてください。  
不完全な場合、回路番号が正しく切り替わりません。

## ■ 位置設定を解除する場合について

操作部にて位置設定の記憶をしたが、その記憶設定を解除したい場合

①操作部電源スイッチがONになっていることを確認してください。



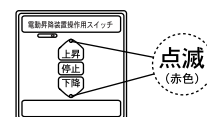
②操作部の電源ランプが“点灯”していることを確認してください。  
(図は1回路の場合)



③操作部の記憶設定を解除したい回路の“停止”を3秒以上押す。



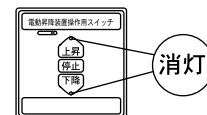
④操作部の“上昇”および“下降”のランプが点滅します。(1秒/1回)



⑤操作部の“上昇”および“下降”のランプの点滅を確認したら、再度操作部の記憶設定を解除したい回路の“停止”を3秒以上押す。



⑥操作部の“上昇”および“下降”のランプが消灯します。



上記①~⑥の操作により位置設定が解除されました。

再度下降停止位置を設定する場合には、取扱説明書P8~を参照してください。



## ■ 故障と思われる前に ～正常動作しない場合、下記の内容で確認してください。～

現象	考えられる原因と対処法	
●動作しない	(A01) 昇降制御部の電源ブレーカーに入っている入力電圧は定格電圧ですか。	電圧が違う場合、定格電圧200V (±6%) を印加してください。→P3, 4
	(A02) 昇降制御部の昇降出力端子台の配線が間違っていますか。	誤配線している場合、配線を見直してください。→P3, 4, 6
	(A03) 電動昇降装置の操作用端子台の配線が間違っていますか。	誤配線している場合、配線を見直してください。→P6
	(A04) 昇降操作部の電源ランプ(緑LED)が点灯していますか。 昇降制御部および昇降操作部の配線が間違っていないか。	誤配線している場合、配線を見直してください。 電源ランプが緑色に点灯することを確認してください。→P2, 6, 7, 10
	(A05) 照明制御リモコンリレー用線および昇降操作スイッチ用線(24V弱電線)が昇降制御用出力線(200V強電線)に近接していませんか。	電気ノイズにて誤動作します。 強電線と弱電線は30cm以上離して設置してください。→P3, 4, 5
	(A06) 昇降操作スイッチ用線に、2芯+シールド線を使用していますか。	電気ノイズにて誤動作します。 必ず、2芯+シールド線を使用してください。→P3, 4, 6
	(A07) 昇降操作部および昇降制御部のFG(フレームグラウンド)にシールド線を接続していますか。	接続していない場合、電気ノイズで誤動作します。 シールド線を確実にFGに接続してください。→P3, 4
	(A08) 昇降操作部の配線(LAとLB)が接触していませんか。	短絡している場合、接触しないように昇降操作部の配線を見直してください。→P3, 4
	(A09) 絶縁抵抗測定を250Vメガ計にて測定しませんでしたか。	250Vメガ計以外で測定した場合、故障している可能性があります。→P1, 3, 5
	(A010) 電動昇降装置操作盤と異なる入力電圧の電動昇降装置を接続していませんか。	電動昇降装置操作盤は200V専用です。昇降動作出力電圧も200Vですので、電動昇降装置は入力電圧が200Vのものを組み合わせてください。 また、異なる入力電圧(100Vと200V)の電動昇降装置を混入して接続しないでください。不動作、器具焼損の原因となります。→P3, 4, 6
	(A011) 昇降操作部裏面にある回路番号設定用ディップスイッチで回路番号の変更をしましたか。	昇降制御部側の昇降制御回路番号と昇降操作部側の回路番号を確認してください。回路番号が違う場合、操作部裏側の回路番号設定用ディップスイッチで回路番号を合わせてください。変更後は、必ず昇降制御部の電源を一度OFFし、再度ONしてください。→P13
●点灯しない	(B01) 安定器の入力電源は、定格電圧ですか。	電圧が違う場合、定格電圧200V (±6%) を印加してください。→P6
	(B02) ランプ用電源線(照明出力線)は電動昇降装置のランプ用端子台に接続されていますか。	誤配線している場合、配線を見直してください。
	(B03) 電動昇降装置(4接点用)のランプ用端子台と高天井器具のリード線番号が間違っていないか。	誤配線している場合、配線を見直してください。
	(B04) 照明制御システム(ワンパルスリモコン)と連動している場合、リモコントランスの入力電圧は定格電圧ですか。	電圧が違う場合、定格電圧200V (±6%) を印加してください。→P6
	(B05) 照明制御システム(ワンパルスリモコン)と連動している場合、照明制御システムの配線が間違っていないか。	誤配線している場合、配線を見直してください。→P6
	(B06) ワンパルスリモコンスイッチのLEDが点灯(緑または赤)していますか。 照明制御システムの配線が間違っていないか。	誤配線している場合、配線を見直してください。→P6 配線に問題がない場合、部品(リモコントランス、リモコンスイッチ、リモコンリレー)が故障している可能性があります。
●途中で動作が止まる	(C01) 昇降制御部の制御盤設定用ディップスイッチは有効側に完全に切り替わっていますか。	不完全な場合、下降停止位置設定が有効になっていません。 完全に切り替え、昇降制御部の電源をOFFにして、再度ONしてください。→P3
	(C02) 昇降操作部にて“停止”を3秒以上押して、下降停止位置設定モードにしましたか。	3秒より短い場合、下降停止位置設定モードになっていません。 昇降操作部にて“停止”を3秒以上押して“上昇”“下降”のLEDが点灯することを確認してください。→P8, 9



## ■ 電氣的仕様

	昇降制御部		
	1回路用	3回路用	6回路用
	SWB1201B	SWB3201B	SWB6201B
入力電圧	AC200V		
周波数	50/60Hz		
主幹電流容量	15A	20A	
分岐回路数	1回路	3回路	6回路
分岐回路電流容量	10A		
最大消費電力	2.7VA	3.5VA	6.3VA
リモコンリレー 制御出力電圧	AC24V		
昇降操作スイッチ 出力電圧	AC24V		
信号入出力電圧	±24V		

## ■ 電動昇降装置の接続可能台数

	昇降制御部		
	1回路用	3回路用	6回路用
	SWB1201B	SWB3201B	SWB6201B
主幹電流容量	15A	20A	20A
電動昇降装置 定格電圧	200V	200V	200V
電動昇降装置(12kg形) CSE1000,CSE1001	43(43)	65(43)	65(43)

( ) は、1回路に接続できる台数

## ■ 照明器具の寿命について

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 半年に1回は取扱説明書P12「電動昇降装置保守点検方法」により自主点検、および3年に1回は工事店等の専門家による点検を実施してください。
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

## 保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。



## 補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。（セード・グローブなどは含まれません。）

## ■ 修理サービス

ご使用中または定期点検において異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店（工事店）または下記連絡先にご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の機種名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。


**三菱電機株式会社**  

**三菱電機照明株式会社**  
 連絡先

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40

☎ (0467) 41-2729 (営業統括部)

☎ (0467) 41-2773 (品質保証部サービス課)